

尚綱大学 尚綱大学短期大学部
オープンキャンパス

申込
不要

7/19(日)・7/20(月・祝)
8/1(土)、11/22(日)

受付開始/9:30～ 尚綱祭と同時開催



内容/学部・学科説明、学科・コース体験、
キャンパスツアー、模擬授業、個別相談など

榎木キャンパス/●文化言語学部文化言語学科 ●幼児教育学科
九品寺キャンパス/●生活科学部栄養科学科 ●総合生活学科 ●食物栄養学科

※詳細についてのお問い合わせ先 尚綱大学/尚綱大学短期大学部入試センター ☎096-273-6300 尚綱高等学校/尚綱中学校 ☎096-366-0295

尚綱中学校 尚綱高等学校
オープンスクール

申込
不要

7/12(日)・8/8(土)
9/26(土) 10:00～

ミニ校舎見学会



内容/学校紹介、授業体験、部活動体験・見学など

オープンキャンパス&オープンスクール参加特典

参加者全員にオリジナルグッズをプレゼント!

尚綱大学 尚綱大学短期大学部 平成28年度 入試日程のお知らせ

※詳しくは募集要項またはWEBでご確認ください。〈お問い合わせ先〉尚綱大学・尚綱大学短期大学部入試センター ☎096-273-6300

【AO入試】

学部学科	入試区分	エントリー期間	授業体験・面談	結果連絡	出願期間	合格通知発送	入学手続締切	
大学	文化言語学部文化言語学科	AO入試<第1回>	平成27年 7月27日(月)～ 8月21日(金)	8月29日(土)	9月 4日(金)	平成27年 9月 7日(月)～ 9月24日(木)	9月28日(月)	
	AO入試<第2回>	平成27年 9月 7日(月)～10月 2日(金)	10月10日(土)	10月16日(金)	平成27年10月19日(月)～10月27日(火)	10月29日(木)	11月 9日(月)	
短期大学部	総合生活学科	AO入試<第1回>	平成27年 7月27日(月)～ 8月21日(金)	8月29日(土)	9月 4日(金)	平成27年 9月 7日(月)～ 9月24日(木)	9月28日(月)	
		AO入試<第2回>	平成27年 9月 7日(月)～10月 2日(金)	10月10日(土)	10月16日(金)	平成27年10月19日(月)～10月27日(火)	10月29日(木)	11月 9日(月)
		AO入試<第3回>	平成27年11月 2日(月)～11月27日(金)	12月 5日(土)	12月11日(金)	平成27年12月14日(月)～12月22日(火)	12月25日(金)	1月 5日(火)

【推薦入試・編入学試験】

学部学科	入試区分	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切	
大学	文化言語学部文化言語学科	推薦入試(指定校、一般) 社会人、外国人留学生入試	平成27年10月19日(月)～10月30日(金)	11月 7日(土)	11月16日(月)	11月27日(金)
	自己推薦入試(第1回)	平成27年11月18日(水)～11月30日(月)	12月 5日(土)	12月11日(金)	12月24日(木)	
	生活科学部栄養科学科	推薦入試	平成27年10月19日(月)～10月30日(金)	11月 7日(土)	11月16日(月)	11月27日(金)
		編入学試験(3年次)	平成27年11月18日(水)～11月30日(月)	12月 5日(土)	12月11日(金)	12月24日(木)
短期大学部	総合生活学科	推薦入試(指定校、一般) 社会人、外国人留学生入試	平成27年10月19日(月)～10月30日(金)	11月 8日(日)	11月16日(月)	11月27日(金)
	食物栄養学科					
	幼児教育学科					

※推薦入試以降の入試につきましては、次号でお知らせいたします。

尚綱中学校 尚綱高等学校

尚綱中学校 学校説明会 10月17日(土) 入試説明会 11月15日(日)、12月12日(土)、2月13日(土)

尚綱高等学校 学校説明会 10月17日(土) 入試説明会 11月15日(日) 全日程 10:00開始 申込不要

後
塞

萌え出づる新緑の木の間に縫って負けずと新入生達の元気な声が校舎に響いています。
新年度も始まり早3ヶ月が過ぎました。新しい学校や職場など環境が変われば新たに沢山のことを習得しなければなりません、どんなことにも共通して大切なものがあります。本学園の「尚綱」という言葉には、深い教養や学問を身につけていてもそれを表にださないという奥ゆかしさの大切さが込められています。
新たな環境に慣れてきた時こそ、この言葉を思い出し謙虚な気持ちを忘れずにいたいものです。(S.M)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚綱学園 編集スタッフ/黒瀬英夫、水政行弘、松野多恵子、古澤千鶴、村上悠、村上薫 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚綱大学 尚綱大学短期大学部
尚綱高等学校 尚綱中学校(中高一貫)
尚綱大学短期大学部附属幼稚園

尚綱学園広報誌

Vol.22

礎
ISHIZUE



大学学生会(榎木キャンパス)

Vol.22 CONTENTS

特集 P1-P3
 イベントレポート P4
 寄附者芳名録、新任教職員紹介 P5
 平成26年度決算の概要と事業報告
 平成27年度事業計画 P6-P9
 インフォメーション P10-11



知性と情操をはぐくむ 女子総合学園に

尚綱大学・尚綱大学短期大学部
学長 森 正人

プロフィール

昭和23(1948)年9月、鹿児島県に生まれる。熊本大学法文学部卒業、東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了、同博士課程を経て、愛知県立大学講師、助教授、熊本大学文学部助教授、教授、同大学院社会文化科学研究科教授を務め、熊本大学名誉教授。博士(文学)。平成27(2015)年4月、本学学長に就任。専門は日本文学。主要著書は「今昔物語集の生成」(和泉書院 1986)、「今昔物語集五」(岩波書店 1996)、「源氏物語とものけ」(熊本毎日新聞社 2009)、「場の物語論」(若草書房 2012)



学内に息づく“尚綱の心”

— 今年4月に学長に就任されました。まずは、ご心境と大学の印象をお聞かせ下さい。

本学は、共学化という道を選ぶことなく、女子総合学園として長い歴史を歩み、社会で活躍する女性リーダーを育ててきました。学長という立場は、学生に大きな影響力を持たざるを得ませんから、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

キャンパスを歩くと感じるのですが、学生たちがお客様に対してにこやかに挨拶をするなど、細やかな気配りができる学生が多いと感じます。そのような細やかな気配りは、誰が教えるわけでもなく、心の持ちようや育ち方に大きく関わっています。ご存じのとおり「尚綱」という言葉には、「内側に立派な錦を着ていても、薄衣で覆うことによって、きらびやかな模様を誇らしげに表に出さない」という意味が込められています。このような建学の精神が、教職員を含めて、学園の皆さんに空気のように浸透しているのだと感じます。

女性が得意とする分野で、社会の核となる優秀な人材を輩出していきたい

— 社会環境の変化にともない、女性が担う社会的役割が変わってきています。127年の伝統を持つ尚綱学園が、果たすべき教育の役割についてお聞かせ下さい。

人類の長い歴史の中で、女性は大きな役割を果たしてきました。複雑で変化の激しい現代社会では、さらに女性の参画が期待され

ています。本学は、古き良き伝統を受け継ぎつつ、保育士、幼稚園教諭、栄養士など、女性が得意とする分野に優秀な人材を多数輩出しており、さらに高い知性と豊かな情操を備えた自立心豊かな女性の育成を目指します。

さまざまな思想に触れ、友人たちと意見を戦わせた大学時代

— 森学長の学生時代についてお聞きします。どのような大学時代を過ごされましたか？

大学に入った頃は、勉強だけでなくアーチェリーの部活に励みました。2年生の11月頃から学生紛争が始まり、学生のストライキで授業ボイコットが長期にわたり、その間は下宿にこもって本を読んだりしていました。わたしの専攻は日本文学なのですが、哲学や社会科学など、専門以外の分野の本もたくさん読みました。当時は「学生ならば、読んでおかなければならない本」と暗に目されているような本が何冊もありましてね(笑)。さまざまな思想や本について、一晩中友人たちと青臭い議論をするようなこともありましたね。

研究を通じて、地域社会に貢献する大学でありたい

— 森学長は研究を通じて地域に貢献する活動を広げていらっしゃいます。地域における大学のあるべき姿や、それに対する学長の思いを教えてください。

今までも「尚綱子育て研究センター」「尚綱食育研究センター」そして「尚綱ボランティア支援センター」を置き、社会貢献を通して人材育成を行ってきました。今年4月には「尚綱地域連携推進センター」を設置し、これらの3センターの機能を包括的に利用できるようにして、大学の研究を礎に、より一層人材育成やまちづくり・地域づくりに貢献できればと思っています。これまでも、文化言語学部の学生たちが、大津町議会の広報誌である「議会だより」を協働で作成するなど連携を強化した結果、6月には文化言語学部が大津町議会と連携協定しました。引き続き、大学及び短期大学部が子育て、食育などを重点テーマに連携強化を図るため、合志市、菊陽町との包括協定を結びました。

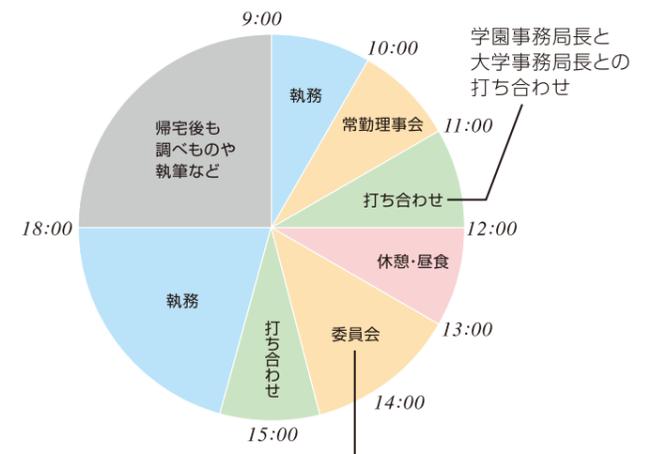
今後さらに地域住民の皆さまとともに、多様な地域連携の事業をコーディネートしていきたいと思っています。

学生みずからが、学ぶという姿勢を身につけて欲しい

— 学生に望むことや、励ましのお言葉などを、メッセージをお願いします！

今後、専門分野が細分化し、さらに高度な技術を持つ女性リーダーが求められる時代が到来すると考えます。大学とは、学び続ける姿勢の基礎を作る場です。学生たちは、卒業後も、みずから考え、学び続ける学びの主体であり続けて欲しいと願っています。本学で学修し続けていく姿勢こそが、卒業後の実践を確かなものとし、生涯にわたる学びと成長を約束してくれることでしょう。

密着!! 森学長のとある一日 学園のために奔走する森学長の一日に密着しました!



平成27年度第3回ホームカミングデイ実行委員会



11/22(日)開催のホームカミングデイに向けて打合せ中

森正人学長の素顔に迫る

ずばり突撃! 森学長って、 こんな人!



Q.家族構成は?

A.妻と長男、次男の4人家族で、現在は妻、次男と3人暮らしです。以前は犬を飼っていました。

Q.趣味は?

A.囲碁のテレビ番組を見ることです。趣味ではありませんが、妻が手を痛めているので、夕食の野菜を切るのを手伝ったりもしますよ。

Q.好きな食べ物は?

A.フルーツが好きです。毎朝、キウイフルーツ、リンゴ、バナナなどを切って、ヨーグルトに混ぜて食べています。

Q.休日の過ごし方を教えてください。

A.温泉に行くのが好きです。よく行くのは菊池市の温泉で、帰りに物産館に寄って野菜などを買ったりします。また、平日にできなかった論文の作成や、調べものをしたりしています。

Q.一日の中で、一番好きな時間は?

A.朝です。6時に起きて庭に出て、花を眺めたりしている気持ちよくて、「今日も一日頑張ろう」という気分になります。

Q.好きな言葉は?

A.囲碁須藤局前無人局上無石(囲碁はすべからく局前に人無く、局上に石無しと解すべし)。これは江戸時代の棋士十一世井上因碩の『囲碁妙伝』の序文の一節です。囲碁を打つには碁盤の前には相手もいない、自分もいない、また盤上に碁石さえない境地を求めよという意味です。このように己を空しくすることはとても難しい。しかし、合理主義や功利主義がかえって現代の人類と社会に困難をもたらしていることを考えれば、こうした古典知はとても貴重なものに思えます。

Q.自分を動物に例えると?

A.ネコですね(笑) あまり人と馴れあわないところが、ネコっぽいと思います。

Q.苦手なことってありますか?

A.人見知りや緊張しやすい性格なので、自分からはなかなかしゃべりかけられないんです。学内で見かけたら、声をかけて下さい(笑)

Q.好きな有名人は?

A.「NON STYLE」や「ナイツ」が好きです。お笑い番組はけっこう見るんですよ(笑)

高校 和装礼法部

全日本きもの装いコンテスト世界大会で初の2冠に輝く



平成27年4月5日(日)東京NHKホールにて、2015年日本の心と美の祭典 全日本きもの装いコンテスト世界大会(全日本きものコンサルタント協会主催)が開催されました。高校3年生 迫 麻里奈さん(和装礼法部)が振袖の部に出場し、地区大会700名世界大会171名の中から全7部門でトップの「装いの女王」、また3人1組の学校対抗の部では豊嶋 彩華さん、橋本 幸枝さん、山口 紗奈さんが優勝に輝きました。短時間で鏡を見ずに着物をどれだけ美しく着られるか、歩き方やお辞儀の仕方およびスピーチなどが審査され、高校生と思わせない堂々とした立ち居振る舞いを披露しました。昨年「装いの女王」に輝いた本校出身の永田聖華さんから迫さんへ、栄冠を受け継ぐこともできました。翌日6日(月)に、入賞者4名が、内閣府特命担当の山谷大臣と有村大臣に表敬訪問を行い「和装のすばらしさを世界に発信していただきたい」とエールをいただきました。また4月28日(火)、熊本県庁に蒲島知事を表敬訪問し、新聞やテレビなど多くのメディアに取り上げられました。

大学 尚綱地域連携推進センター

尚綱地域連携推進センターは平成27年4月1日に設置され、地方自治体と協力しながら研究と教育の推進に取り組んでいます。主な目的は、大学及び短期大学部が有する人的、知的資源を有効に活用して、地域社会(地方公共団体、企業、地域住民)との多様な連携を推進し、地域の産業、文化、教育を支援することです。このような社会貢献を通じて学生の学力向上と地域社会に対する認識を高め、将来の進路に役立つスキルを養成します。具体的な取り組みとしては、熊本県下の主な地方自治体と包括連携を結び、人材の育成やまちづくりに寄与し、地域



菊陽町武蔵ヶ丘児童館で実施(5/18)した「えいごであそぼう」という園児や小学生低学年向けの英語教育の活動の様子

において信頼感と存在感のある大学・短期大学を目指して取り組んでいます。



大津町の「議会だより」(2015年2月号)の作成に協力して地域へ貢献しながら学生自身のスキルを高めています。

大学 尚綱ボランティア支援センター

主催事業「KKTアナウンサー・村上美香さん講演会」を11月開催予定!

今年11月に、ボランティア啓発講座としてKKTアナウンサー村上美香さんを講師にお招きし、講演会を開催します。また、昨年好評だった熊本県認知症サポーター養成講座も両キャンパスで実施予定です。学外から、ロアッソ熊本・運営ボランティアや地域からのボランティア要請に基づき全学生に周知を行い、学生の地域貢献活動を支援していきます。



昨年度の熊本県認知症サポーター養成講座の様子

- 【今年度の主催事業】●KKTアナウンサー・村上美香さん講演会
- 熊本県認知症サポーター養成講座
- ボランティア活動学内パネル展示 など

大学 尚綱子育て研究センター

保育実践講演会&実践検討会を開催しました!



テーマ「めざせ!笑って泣いて感動して泣く保育」講演者: 全国幼児教育研究会・東京都公立保育園保育士 高橋光幸氏

平成27年3月8日(日)に、九品寺キャンパスにて保育実践講演会を開催しました。参加した約150名の保育士のみなさんは、終始泣き笑い!!すっきり晴れ晴れとした笑顔で、明日の保育への元気をもらいました。また、午後からは30名の保育士と講師を交えて、実践検討会を行いました。検討場面では、保育者から活発な意見交流が行われました。



第15回公開シンポジウムのご案内

日時/平成27年8月2日(日)9:20~12:00
会場/尚綱大学榎木キャンパス
短期大学部幼児教育学科「サマーセミナー」同時開催
皆様お誘い合せの上、是非ご参加ください!!

大学 尚綱食育研究センター

平成27年5月16日(土)「ミズベリング白川74」に参加しました。この催しは国土交通省からの呼びかけに応じて尚綱食育研究センターとして参加した事業です。白川河川敷の改修に伴い河川敷の有効活用を目指した社会実験として多くの催しがありました。昨年実施した「学食レシピコンテスト」で優秀作品として学食で提供された献立の中から「ハニージンジャー彩り♡チキン丼」を限定販売しました。献立は「くまもの赤」「野菜100g摂取」「ウォーターオフセット米利用」など独自の工夫がみられ、レシピと一緒に配布するよう計画しました。ステージ発表では、限定販売弁当の食材についての効能・作り方、家庭における弁当作りのポイント・衛生管理について発表を行いました。



尚綱大学 尚綱大学短期大学部

平成26年度春季キャリアガイダンスを開催

平成27年3月3日(火)に九品寺キャンパスにおいて平成26年度春季キャリアガイダンスが開催されました。九品寺キャンパスでは文化言語学部、生活科学部、総合生活学科、食物栄養学科の1年生から3年生まで合計約550名が参加し、就職講演、模擬面接、見た目UP・メイク講座など各学年に応じたプログラムが実施されました。合同会社説明会やOGによる職場説明会も開催され、参加した学生は採用担当者や卒業生の話に熱心に聞き入っていました。就職活動のスタートを切った大学3年生、短大部1年生だけでなく、その他の学年にとっても、就職への意識を高める良い機会になったようです。



グループディスカッション



メイク講座

学生支援講座を開催

新入生を対象に「薬物乱用防止」「消費者教育」「身近な人からの暴力~セクシャルハラスメントとデートDV~」「心の健康」「女性の健康づくり」について専門機関から講師をお招きし、講座を実施しました。薬物乱用防止講座では実際の体験談を聞く機会もあり、薬物依存は自分自身だけでなく、周囲にも重大な影響を与えることを強く感じたとともに、学生自らが薬物に対する意識を高めようとする姿勢が見られました。



尚綱中学校 尚綱高等学校

充実のシンガポール修学旅行



平成27年3月5日(木)から9日(月)にかけて、中高一貫3年生18名、高校2年生35名でシンガポール修学旅行に行ってきました。連日35℃の高温多湿気候の中、誰ひとり体調を崩すことなく元気にシンガポール・マレーシアの文化に触れてきました。一番楽しく思い出に残る経験となったのは、現地の学生たちとの交流会でした。英語でのコミュニケーションは大変でしたが、何とか心を通じ合わせ、何ものにも優る良い体験となりました。異文化に触れ、そして日本を知ることのできた貴重な5日間の旅でした。

尚綱中学校

くまもと環境フェア2015に出場



平成27年5月16日(土)、17日(日)に熊本市動植物園で開催された「くまもと環境フェア2015」に中高一貫コースのエコ委員会の6名と中学2年生4名が出場しました。一般市民の環境への関心啓発を目的とするイベントで、環境省や熊本県、熊本市、NPO法人など33の団体が参加しました。中学・高等学校として初参加の本校は、生命環境エネルギー学習についての写真やパネル展示と、フードマイレージ学習を踏まえた、お弁当に熊本県産の食材を使う取り組み「尚綱ガールズ熊本DAYー私たちの行動が地球を救うー」のステージ発表を行いました。

尚綱大学短期大学部附属幼稚園

ソラマメを収穫(年長組)

5月の半ば、年長組は一人一鉢で育てたソラマメを収穫しました。毎日水をかけ、少しずつ大きくなる房をみて楽しみにしていました。収穫日が少し遅れ、房が黒くなっているものもありましたが、形や色、大きさに関心をもったり、収穫した豆の数をみんなで数えたりしました。事前に「どうやって食べようか」と、子ども達と相談をしました。「大きなお鍋でお料理しよう!」「房のまま焼いて食べてみたい!」ということになり、茹でた豆と焼いた豆の「味くらべ」をしました。「おいしい」「お芋の味に似ている」「焼いたのはすこし苦い」などの感想が聞かれました。初めてソラマメを食べたという子どももいて、食の体験も広がったようです。



第2回提案制度表彰式

平成26年6月にスタートした「提案制度」の第2回表彰式が平成27年3月10日(火)に行われました。この制度は、業務改善に関する提案や実績を広く職員から募集し、業務の質の向上と効率化を図ることを目的に創設されたものです。職員から事務改善策や斬新なアイデアを募集し、制度の活性化を図っていきます。



第1回教育優秀職員表彰式

平成27年5月8日(金)教育優秀職員表彰式が行われました。尚綱高等学校和装礼法部の「全日本きもの装いコンテスト世界大会」における3年連続優勝という輝かしい成績に導いたことをはじめ、指導者として優れた教育成果を挙げた教職員3名が受賞しました。



受賞者: 江本 貴美子(高校非常勤講師)
松野 多恵子(高校教諭)
澤田 衣里(中高一貫事務職員)

【125周年記念育英奨学寄附金】の報告とお願い

本学園の育英奨学金制度の充実を図るため、寄附金募集活動を平成25年5月より行っています。皆様より、ご寄附いただいた寄附金は、現行の制度に加え、更に新設及び改正を行い、経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた学生・生徒に対して、これを奨励・支援していくための育英奨学資金として主に活用されます。

ここに、平成26年11月16日から平成27年5月末までの寄附の応募状況及び、寄附者ご芳名を掲載させていただきます。多方面のたくさんの方々からご寄附いただきましたことを、心より厚くお礼申し上げます。今後とも、より多くの皆様のご協力ご支援を賜り、学生・生徒のための育英奨学資金の充実を図りたく、よろしくお申し込み申し上げます。

寄附者芳名録			
平成26年11月～平成27年5月末現在			
ご寄附をいただきました皆様のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。			
寄附金内訳			
卒業生 3件/¥20,000	個人・法人・企業等 4件/¥1,400,000	現旧役員・教職員 5件/¥670,000	合計 12件/¥2,090,000
卒業生・現旧役員教職員・個人・法人・企業 (順不同)			
合原 一夫様	西嶋 ちずる様	佐藤 タカ様	光多制服株式会社様
横田 和子様	池満 淵様	森 正人様	
・寄附者ご芳名の発表は「個人情報の保護に関する法律」に基づき、ご寄附のお申し込みの際にあらかじめ同意された方のみを掲載しています。匿名を希望された方でご芳名発表の変更をご希望の場合は、学園事務局までご連絡ください。なお、申込書の掲載希望欄に印印の記入のない場合にはすべてご芳名発表とさせていただきます。 ・名簿整理には慎重を期しておりますが、万一、まちがいがございました場合はご連絡ください。			
寄附金	(1)個人 ……………1口5,000円(何口でも結構ですし、設定金額以外でも有難くお受けいたします。) (2)法人・団体 ……1口の金額は定めておりません。 ※なお、それぞれ税の優遇制度を設けておりますのでご利用いただけます。 ※寄附金募集に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。 尚綱学園学園事務局 〒862-8678 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL. 096-364-0116 FAX. 096-363-6520 担当/竹本		

【尚綱高等学校・尚綱中学校】

特待等の種別	採用の目安等	免除・給付	寄附金事業実績
専願特待生	市外・県外に保護者が在住する生徒で、学業・特技に特に優れたもの、経済的理由で就学が困難な生徒が免除対象となります。(入寮が条件)	入学金・教育振興費・授業料相当額・施設費・教育充実費・その他校納金	20名
卒業生家族特待生	母又は祖母が尚綱大・短大・高校の卒業生の生徒が免除対象となります。(特待・特技SS・A・B・C・専願生の重複不可)	入学金	2名
海外留学奨学金	語学研修など海外への短期・長期留学する生徒が給付対象となります。(高等学校のみ)	1回につき100,000円	0名

【尚綱大学・尚綱大学短期大学部】

特待等の種別	採用の目安等	免除・給付	寄附金事業実績
如蘭学寮 寮費免除	保護者が県外に在住する学生や通学時間に片道1時間以上要する学生であり、学業・特技に優れ、かつ経済的理由等で就学が困難な場合、免除対象となります。	寮費(月額19,000円)・通学定期券代	15名
姉妹入学金減免	①本学に入学する4月時点で本学に在学する者の姉妹(2人目以降の学生、②も同様) ②複数人が同一年度に入学する姉妹	入学金の1/2	15名
海外留学奨学金	語学留学など海外への短期・長期留学する学生が対象となります。(交換留学を含む)	留学期間別に20,000円～100,000円	8名

新任教職員紹介

平成27年5月1日現在

<ul style="list-style-type: none"> ■尚綱大学文化言語学部／文化言語学科 森 正人(教授) 山川 仁子(准教授) ■尚綱大学生活科学部／栄養科学科 本田 智巳(助手) ■尚綱大学短期大学部／幼児教育学科 柴田 賢一(准教授) 	<ul style="list-style-type: none"> ■尚綱高等学校 坂本 健一(講師) ■尚綱中学校 山田 昭雄(教諭) ■尚綱大学短期大学部附属幼稚園 緒方 志保(教諭) 沼田 智子(教諭) 根本 亜佐子(教諭) 前田 美佳(教諭) 溝口 佳代子(職員) 	<ul style="list-style-type: none"> ■尚綱大学／楡木キャンパス 今村 貢(教務課長) 荒木 沙耶(職員) 藤田 千晶(職員) ■尚綱大学／九品寺キャンパス 久野 恭義(経理課長) 碓塚 光雲(就職課長) 西村 奏美(職員) 福島 由香(職員) 城下 麻喜(職員) 稲葉 えり(職員) 永田 睦実(職員) 松岡 勝男(職員)
--	--	--

学校法人尚綱学園 平成26年度決算の概要と事業報告

1. 決算の概要

学校法人尚綱学園の平成26年度決算は、平成27年5月22日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにしています。

資金収支決算書要約 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位 千円)

資金収入の部	平成26年度	前年度	増 減	資金支出の部	平成26年度	前年度	増 減
学生生徒等納付金収入	1,546,150	1,505,107	41,043	人件費支出	1,360,527	1,423,872	△ 63,344
手数料収入	25,606	30,500	△ 4,894	教育研究経費支出	323,395	292,660	30,735
寄付金収入	14,600	27,111	△ 12,510	管理経費支出	102,169	114,132	△ 11,962
補助金収入	544,088	574,048	△ 29,960	借入金等利息支出	1,742	3,354	△ 1,612
資産運用収入	4,020	6,543	△ 2,522	借入金等返済支出	36,100	46,100	△ 10,000
資産売却収入	0	0	0	施設関係支出	40,516	97,245	△ 56,728
事業収入	3,057	4,774	△ 1,716	設備関係支出	64,140	60,812	3,328
雑収入	45,471	136,465	△ 90,994	資産運用支出	260,801	72,628	188,172
前受金収入	468,253	505,859	△ 37,606	その他の支出	85,462	266,527	△ 181,065
その他の収入	156,444	127,270	29,174	資金支出調整勘定	△ 32,231	△ 58,697	26,466
資金収入調整勘定	△ 551,548	△ 585,708	34,160	支出の部小計	2,242,623	2,318,634	△ 76,011
前年度繰越支払資金	876,435	863,098	13,337	次年度繰越支払資金	889,958	876,435	13,522
収入の部合計	3,132,581	3,195,070	△ 62,489	支出の部合計	3,132,581	3,195,070	△ 62,489

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒等納付金収入は1,546,150千円となり、前年度比41,043千円増加しました。また、補助金収入として544,088千円を計上しましたが、前年度と比較すると29,960千円減少しています。寄付金収入は14,600千円でしたが、そのうち学園創立125周年を記念して募集した育英奨学寄附金が10,042千円を占めました。

支出の部では、人件費支出が1,360,527千円となり、前年度比63,344千円減少しました。教育研究経費支出は323,395千円と前年度比30,735千円増加していますが、これは奨学費支出と修繕費支出が増加したことによるものです。一方で、施設関係支出は前年度比56,728千円減少していますが、予定していた施設改修工事等は順調に完了いたしました。その他、資産運用支出が260,801千円となり、前年度比188,172千円増加していますが、将来への備えとして施設設備引当特定預金に250,000千円を積立てたことによるものです。以上の結果により、次年度繰越金は889,958千円となり前年度比13,522千円増加いたしました。

(2)消費収支計算書 消費収支計算書は、当該年度の消費収入と消費支出の内容と収支の均衡を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。計算技術的には企業会計の損益計算書とよく似ています。

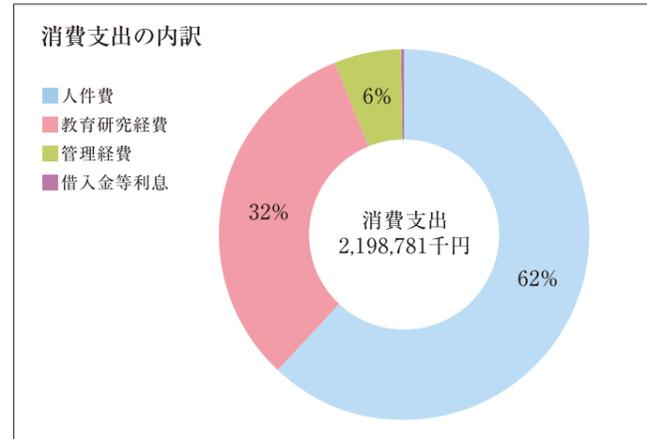
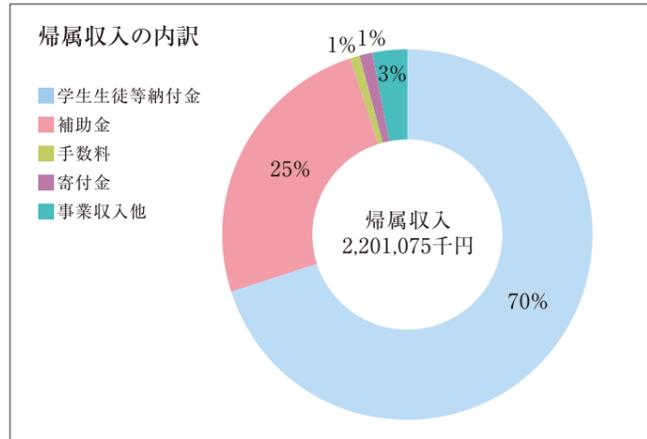
消費収支決算書要約 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部	平成26年度	前年度	増 減	消費支出の部	平成26年度	前年度	増 減
学生生徒等納付金	1,546,150	1,505,107	41,043	人件費	1,354,221	1,406,238	△ 52,017
手数料	25,606	30,500	△ 4,894	うち引当金繰入額	0	75,001	△ 75,001
寄付金	17,833	31,546	△ 13,712	教育研究経費	704,067	664,124	39,942
補助金	544,088	574,048	△ 29,960	うち減価償却額	380,520	371,038	9,481
資産運用収入	4,045	6,601	△ 2,555	管理経費	137,207	148,618	△ 11,411
資産売却差額	0	0	0	うち減価償却額	21,326	20,161	1,165
事業収入	2,390	4,774	△ 2,383	借入金等利息	1,742	3,354	△ 1,612
雑収入	60,958	142,173	△ 81,214	資産処分差額	543	0	543
				徴収不能額	999	171	828
帰属収入合計	2,201,075	2,294,752	△ 93,677	消費支出合計	2,198,781	2,222,509	△ 23,727
基本金繰入額合計	△ 134,037	△ 404,708	270,670	当期収支差額	△ 131,744	△ 332,465	
				前期繰越収支差額	△ 3,172,466	△ 2,840,249	
消費収入合計	2,067,037	1,890,043	176,993	次期繰越収支差額	△ 3,298,576	△ 3,172,466	
				帰属収支差額	2,293	72,243	

消費収支計算書の収入の部において、学園の正味の収入である帰属収入は2,201,075千円となり、前年度比93,677千円減少いたしました。学生生徒等納付金が41,043千円増加した一方で、補助金や学園が加盟する退職金財団からの交付金が減少したことによるものです。固定資産の取得や借入金の返済等に係る基本金組入れを134,037千円行った結果、消費収入の部合計は2,067,037千円となりました。

消費支出の部では、教育研究経費及び管理経費について、資金収支計算書の概要で説明した支出のほかに減価償却額がそれぞれ380,520千円と21,326千円含まれています。

以上の結果により、当年度消費収支差額は131,744千円の支出超過となりましたが、重要な経営指標とされる帰属収支差額は2,293千円の収入超過となりました。



(3) 貸借対照表 貸借対照表は、一定時点(決算日)における資産、基本金、消費収支差額の内容と在高を明示して学校法人の財政状況を明らかにしています。

貸借対照表 平成27年3月31日

資産の部 (単位 千円)				負債の部 (単位 千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,235,868	10,307,118	△ 71,249	固定負債	498,979	548,210	△ 49,230
有形固定資産	8,836,360	9,144,637	△ 308,277	長期借入金	27,760	41,640	△ 13,880
土地	1,023,134	1,023,134	0	退職給与引当金	458,789	480,583	△ 21,793
建物	6,177,681	6,427,249	△ 249,567	長期未払金	12,430	25,986	△ 13,556
構築物	335,669	364,366	△ 28,696	流動負債	560,593	645,279	△ 84,685
教育研究用機器備品	396,662	439,760	△ 43,098	短期借入金	13,880	36,100	△ 22,220
その他の機器備品	42,064	38,238	3,825	未払金	45,788	69,880	△ 24,092
図書	857,955	844,993	12,962	前受金	468,253	505,859	△ 37,606
車両	3,191	6,894	△ 3,702	預り金	32,672	33,439	△ 766
その他の固定資産	1,399,508	1,162,480	237,027	負債の部合計	1,059,573	1,193,489	△ 133,915
有価証券	20,000	20,000	0	基本金の部			
退職給与引当特定資産	550,017	550,017	0	科目	本年度末	前年度末	増減
減価償却引当特定資産	100,063	100,063	0	第1号基本金	13,263,835	13,136,135	127,699
施設設備引当特定資産	525,600	275,600	250,000	第3号基本金	174,707	174,002	704
第3号基本金引当資産	174,707	174,002	704	第4号基本金	148,000	148,000	0
奨学寄附金引当特定資産	8,244	22,197	△ 13,952	基本金の部合計	13,586,542	13,458,138	128,403
その他	20,875	20,599	275	消費収支差額の部			
流動資産	1,111,671	1,172,043	△ 60,372	科目	本年度末	前年度末	増減
現金預金	889,958	876,435	13,522	翌年度繰越消費支出超過額	3,298,576	3,172,466	126,110
未収入金	44,689	132,445	△ 87,755	消費収支差額の部合計	△ 3,298,576	△ 3,172,466	△ 126,110
有価証券	144,297	144,223	74	科目	本年度末	前年度末	増減
仮払金他	32,725	18,938	13,786	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	11,347,539	11,479,161	△ 131,621
資産の部合計	11,347,539	11,479,161	△ 131,621				

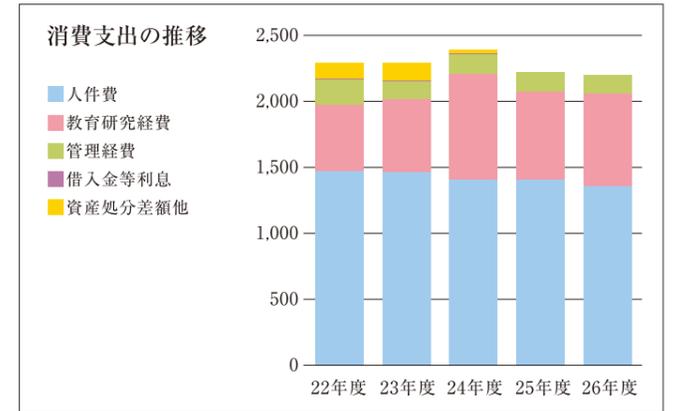
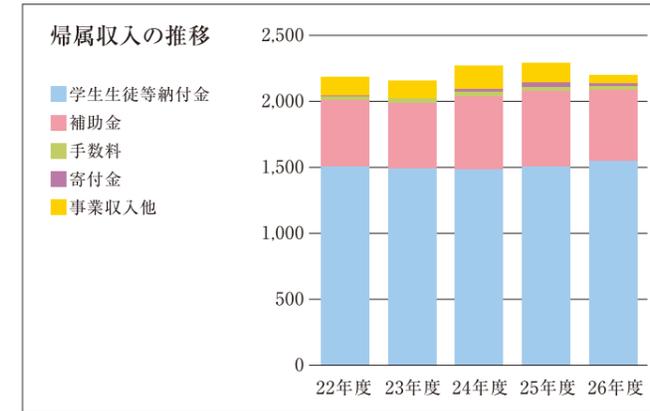
平成26年度末における固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)を合わせた資産の部合計は11,347,539千円で、建物や教育研究用機器備品の償却が進んだことにより、前年度末と比べて131,621千円減少いたしました。

一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,059,573千円となり、前年度末と比べて133,915千円減少いたしました。

消費収支の推移 平成22年度から平成26年度まで

(単位 千円)

収入の部	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	1,505,848	1,490,587	1,482,639	1,505,107	1,546,150
補助金	499,217	498,335	557,494	574,048	544,088
手数料	31,095	30,910	29,053	30,500	25,606
寄付金	10,041	6,128	25,970	31,546	17,833
事業収入他	139,593	130,394	172,514	153,549	67,395
帰属収入合計	2,185,796	2,156,355	2,267,672	2,294,752	2,201,075
基本金組入れ合計	△ 532,947	△ 1,669,436	△ 1,456,003	△ 404,708	△ 134,037
消費収入の部合計	1,652,848	486,918	811,669	1,890,043	2,067,037
支出の部	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費	1,471,096	1,464,471	1,406,487	1,406,238	1,354,221
教育研究経費	498,539	550,378	797,602	664,124	704,067
管理経費	193,673	132,908	151,429	148,618	137,207
借入金等利息	11,384	7,172	5,177	3,354	1,742
資産処分差額他	114,456	138,280	32,634	171	1,542
消費支出の部合計	2,289,150	2,293,211	2,393,331	2,222,509	2,198,781
当年度消費支出超過額	636,302	1,806,292	1,581,661	332,465	131,744



2. 事業報告

《法人部門》

(1) 収支の黒字化

①各学校学部・学科ごとに学生(生徒)募集状況の分析を実施した。②入学定員確保に向け各種施策を検討した。③予算管理体制適正化への取組みを実施した。

(2) 人事制度の改革

①人事評価制度の定着化と適正運用に取組んだ。②適材適所の教職員配置、互換性向上を意識した人事異動を実施した。③時間管理を含めた職場環境の改善に取組んだ。

(3) 組織・運営基盤の改革

①各委員会の機能強化、委員会・部会の見直しを実施した。②広報戦略を明確化し、学園広報を一元化するとともに情報発信力を強化した。③自己点検評価・学校評価を実施しPDCAによる組織運営への反映に取組んだ。④同窓会・後援会・保護者会と学校・法人の連携強化に取組んだ。

(4) 学修(学習)環境の整備

①九品寺・楡木キャンパス全ての建物について施設点検を実施した。②Webページの管理体制を明確にし、タイムリーな更新と内容の充実に取組んだ。③一斉メール配信システム「学校安心安全メール」を導入し連絡体制の強化を図った。④尚綱学舎の利用促進に取組み、26年度は延3,000人強の実績であった。

《尚綱大学・尚綱大学短期大学部》

(1) 学生支援

①国家試験の合格率向上に向け、各種国家試験対策講座・サマーセミナー・研修会等の開催に加え、特別支援委員会を立ち上げ総合的な取組みを開始した。②奨学金制度・表彰制度等現行制度の見直しに取組み、寮費免除・授業料免除の弾力的な運用を実施した。

(2) 就職支援

①就職懇談会・キャリアガイダンスを実施した。②大学コンソーシアム熊本インターシップへの積極的な取組みを行い参加企業からも評価を得た。

(3) 国際交流

①仁徳大学(韓国)との大学間交流協定を締結。②慈済大学(台湾)との大学間交流協定を締結。③大連交通大学(中国)との学部間交流を開始。

(4) 教育・研究の多様化

①全学部・学科で「建学の精神・尚綱の教育理念」を説明した。②授業改善アンケートを実施し学生にフィードバックするとともに改善に取り組んだ。③入学前スクーリング、基礎セミナー等を実施し基礎的な教育の充実を図った。④尚綱食育研究センターを新設し、企業等との連携を推進した。

(5) 入試広報対策

①高校訪問・出前授業・学校説明会等に積極的に対応した。②鹿児島市・宮崎市での一般入試を実施した。③高大連携を強化し各種の取組みに積極的に対応した。

(6) 地域社会との連携

①第25回尚綱公開講座を開講し延576名が受講、第8回文化言語学部公開講座を開講し延315名が受講した。②尚綱子育て研究センターで8月に公開シンポジウムを開催し約300名が参加した。③図書館を地域住民・公開講座受講者等に開放し、利用促進を図った。

(7) ボランティア活動への取組み

①学生支援委員会が対応してきたボランティア活動を尚綱ボランティア支援センター(新設)に移譲し、より組織的な対応が可能となる体制を整えた。②ボランティア情報をWebページにアップし最新の情報提供に取組んだ。

《 尚綱中学校・高等学校 》

- (1)教育内容の改革
 ①基礎学力の確立
 ○総合コース1年生・2年生を対象に始業前課外授業を実施した。○高校生全員を対象に小論文講座を実施した。○高校生全員に家庭学習と時間管理の習慣化を目的として「能率手帳スコラ」を活用し『生活の記録』の実践指導を行った。○学力向上プロジェクト委員会を設置し、総合的な対応策を検討した。○尚綱塾・尚綱ゼミを積極的に開催し目的別・習熟度別にきめ細やかな対応をとった。
 ②人間教育の再構築
 ○礼法委員会の主導により全職員で「挨拶の徹底」に取組んだ。○環境保健部と美化委員を中心に「清掃活動の徹底」に取組んだ。○高校卒業までに生徒全員がマナー検定上級の合格を目標として取組んだ。
 (2)進学・進路支援
 ①進路通信「春に向かって」を毎月発刊し、全校生徒および保護者に配布した。
 ②各学年で進路ガイダンスを実施し、就職希望者(保護者含む)に講演会・就職相談会を実施した。
 ③教務部で情報の一元化を図り、担任へのフィードバックを行った結果、スムーズな情報提供。
 (3)国際交流の推進
 ①中学校の修学旅行をシンガポール4泊5日の旅程で実施し、プキバンジャン中学校との交流に取組んだ。
 ②高校生の修学旅行を国内またはシンガポールの希望選択とし、シンガポール 選択者35名がビクトリアジュニアカレッジとの交流に取組んだ。
 ③フランスからの留学生を2名、アメリカからの留学生を1名受入れた。
 ④シンガポールのプキバンジャン中学校とビクトリアジュニアカレッジからは本校への来校も実施され交流を図った。⑤尚綱塾主催でアメリカの劇団(Covenant Players)を招き中学生全員が英語劇に参加した。
 (4)部活動の推進
 ①4月に新しく「日本舞踊愛好会」が発足した。②中高ソフトテニス・卓球・硬式テニス・和装礼法・高校将棋・吟詠が全国大会に出場し、高校ソフトテニスで全国3位、和装礼法個人の一部で全国優勝の成績を収めた。
 (5)生徒募集
 ①女子高特有の明るさと清潔感を前面に押し出した広報で募集活動を展開した。②中学校・学習塾の訪問を継続して推進した。

《 尚綱大学短期大学部附属幼稚園 》

- (1)特色ある幼稚園づくり
 ①幼稚園敷地内で「親子でクワガタ採り」を実施した。②絵本室の絵本を100冊入替え、保護者による「絵本読み聞かせ」を実施した。
 (2)子育て支援
 ①保護者向け講演会「親の学び講座」を3回実施した。②毎月のお誕生日会で保護者による保育者体験を実施し、併せて「おしゃべり広場」事業を実施した。
 (3)園児募集
 ①平成28年4月より幼保連携型認定こども園に移行予定であり、預り保育のあり方、給食のニーズ把握等、事前調査を実施した。②菊陽町方面のバスコースを延長し見直した。

学校法人尚綱学園 平成27年度事業計画

1. はじめに

尚綱学園は、平成25年度を初年度とする「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」を基に諸施策を実施しておりますが、開始から2年が経過したこと、その間の本学園を取り巻く環境や文教行政の変化を踏まえ、新たな重点目標の設定や優先順位の変更及びタイムスケジュールの再検討等の計画の一部見直しを行い、平成27年度は見直し後の目標達成に向けた事業計画といたしました。
 平成27年度におきましても、女子総合学園としての利点を生かす体制づくりを進めながら、建学の精神を基本に「特色ある教育の質の向上」と「地域連携の強化」に取り組むことといたします。

2. 主な施策

《 法人部門 》

本学園の中長期行動計画に於いて、安定的財政基盤の確立を図ることとしておりますが、平成26年度は指標とする帰属収支では黒字基調の確立までには至りませんでした。平成27年度は、平成28年4月の認定こども園開設に向けての園舎建築等の支出が発生いたしますが、借入によらず手元資金で対応する計画であることから、日常活動において教育研究に関わる分野以外での支出について更に慎重に対処し、全体として抑制してまいります。

一方、人事制度に関しましては、学園全体に人事評価制度が定着し始めていることから、適正運用のための評価者訓練等の充実と併せ、評価に対する信頼性確保のための評価結果のフィードバックを確実にを行います。また、自己申告制度、職員研修体制の強化により、適材適所の人材配置や職員のレベルアップも含め一層円滑な業務運営に努めてまいります。

学園にとって最も重要な学生・生徒の確保にあたっては、新たな広報媒体や広報手段を調査・研究することと併せて、これまでの入学者実績を詳細に分析し、その結果に基づいた募集活動を積極的に展開していくことといたします。

また、地域貢献・地域連携強化のため、平成27年度は大学内に尚綱地域連携推進センターを新たに設けるほか、図書館の一般開放や学園諸施設の貸出も継続してまいります。

《 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 》

教育面では、全学的な教学マネジメント体制の充実と努めるとともに、学生の主体的な学修を促すべくアクティブラーニングの推進、履修系統図の整備などに取り組めます。

また、平成26年度から実施した文化言語学部と総合生活学科の改組について、その成果を検証するとともに、教育の質向上に努めてまいります。研究面では、尚綱子育て研究センター及び尚綱食育研究センターの円滑な運営と研究推進に努めます。さらに、尚綱地域連携推進センターを設置し、地域との教育・研究の連携を強化してまいります。

《 尚綱中学・高等学校 》

平成26年度は、前年度から継続して取り組んだ国際交流、学力向上、カリキュラムの検討、高大連携事業、部活動の推進と進路保障、ボランティア活動、礼法教育、環境美化に加えて、「ことば教育」「学校評価制度」に取り組み、教育内容の一層の充実と「尚綱らしさ」の追及に取り組めました。国際交流・部活動の推進・進路保障では、一定の成果が得られ、更に継続して取り組み、2020年から実施予定の高大接続テスト(仮称)に対応した教育課程及び指導方法の研究に着手します。また、総合・特進・一貫コースのそれぞれの特色あるコースづくりによる、「尚綱らしさ」の一層の追及に取り組めます。

学習意欲あふれる生徒の確保については、プロジェクト委員会にて年間活動計画を策定し、特に本校の恵まれた教育環境と安心して快適な学校生活の様子、特待生制度の充実、女子校の魅力等を柱に全職員で募集活動を展開しました。今年度の実績と検証を実施し、より効果的かつ効率的な募集活動を更に深めて参ります。

生徒支援、指導力向上、地域連携における取り組みは年間計画に則りほぼ予定通りに実施致しました。中でも文化祭・ホームカミングデーでは保護者会・同窓会の積極的な協力を得ることができました。一方、指導力向上においては各種研修会の成果が十分に得られたとは言い難く、一層の取り組みを推進します。さらに、地域連携における本校主催の各種行事の一層の充実を推進すると共に、26年度で終了となった『はなしのぶコンサート』に替わるギターマンドリンコンサートを6月に九品寺校地内で開催する予定です。

《 尚綱大学短期大学部附属幼稚園 》

地域での保育所開設の要請もあることから、認定こども園を平成28年度から開設すべく準備します。

尚綱大学 尚綱大学短期大学部

尚綱祭 2015 GIRL'S IMPACT

11/21(土)・22(日) 10:00～

・クラスバザー・研究発表・カラオケコンテスト
 ・ファッションショー・ミスコンテスト・ゲストライブなど



11月22日(日) 進学相談会同時開催

尚綱大学設立40周年

第3回ホームカミングデー

11/22(日) 10:00～15:00

(受付9:00～ 楡木・九品寺キャンパス正門)

尚綱大学・尚綱大学短期大学部卒業生のみなさん、
 久しぶりに母校を訪れてみませんか?



尚綱祭と
 同時開催

(内容)講演会・交流会・お茶席・同窓会カフェ・展示など

尚綱公開講座

メインテーマ 人間探求 ～地域コミュニティと暮らし～

- 開講場所／九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール
- 受講者／男女、年齢に関係なく、受講できます。 ■ 受講料／受講する講座数に関係なく、資料代実費として2,000円をご負担いただけます。

開講日	I (9:30～11:00)	II (11:10～12:40)
8月31日(月)	開講式 食生活の変化と健康 尚綱大学生活科学部准教授 守田真里子	地域の動きと暮らしの変化 尚綱大学文化言語学部教授 山中守
9月1日(火)	霞んで見える日も増えました～PM2.5などによる健康被害を防ぐには～ 尚綱大学短期大学部総合生活学科教授 中嶋弘二	詩人・坂村真民の詩作とその生涯～詩人の軌跡と尚綱～ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科教授 安川正雄
9月2日(水)	英国のくま ～プーとパディントン～ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科准教授 市川文字	図書館による地域活性化～コミュニティの拠点としての図書館～ 尚綱大学文化言語学部准教授 桑原芳哉
9月3日(木)	食べる機能と認知症 ～最期まで自分らしく生きるための食事～ 尚綱大学短期大学部食物栄養学科助教 本田順子	日本人の人口統計から何が見えるか? 尚綱大学生活科学部教授 井上稔
9月4日(金)	女と靴下は本当に強くなったのか!! ～足元からの男女共同参画～ 尚綱大学文化言語学部客員教授 越地真一郎	製品の安全な使用について～法律学と経済学の観点から考える～ 尚綱大学・尚綱大学短期大学部前学長・名誉教授 大羽宏一

※開講式後に「受講者と講師の懇談会(茶話会)」を開催します。
 ■ 受講申し込み／はがきに①郵便番号②住所③氏名(フリガナ)④年齢と性別⑤電話番号⑥受講希望講座名⑦前回受講の有無⑧懇談会の出・欠を書いて8月24日(月)までにお申し込みください。なお、当学園Webページ又はE-mailでもお申込みできます。

〈お申し込み先〉尚綱学園内 尚綱公開講座係 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-362-2011
 Webページ <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/> E-mail kokai@shokei-gakuen.ac.jp

尚綱中学校 尚綱高等学校

文化祭

7/18(土)
 10:00～14:00



同時開催 年に一度は尚綱へ帰ろう!
ホームカミングデー
 (内容)お茶席・作品展示・グッズ販売
 同窓会など

体育祭 9/20(日) 8:30～

場所:水前寺競技場



尚綱コンサート

入場無料

10/31(土) 開場 13:00
 開演 13:30

場所:熊本県立劇場
 コンサートホール

生徒・保護者・同窓生によるコンサートです。

